

食育事業取組報告書(第一中学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる 作る ・ 食べる ・ 返す	実施年月日	5年5月～10月 6年2月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	1 教諭 2 学校教育課
単元名	野菜作り、小煮物作り		3 食生活改善推進委員
ねらい	○野菜の栽培を通して、栽培や収穫の喜びを味わい。食物を大切にしようとする心を育む。] ○郷土料理である小煮物(のっぺ)作り、食文化について学ぶ事を通して、新発田への愛着をもち、郷土に対する誇りをもたせる。		

児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
<p>1、畝づくり、苗を植える(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と協力し、畝を3カ所つくった。 ・苗を植える際、間隔や穴の高さを地域の方から指導を受けながら、サツマイモの苗を植えた。 <p>2、出前講座(郷土料理の小煮物について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課より栄養士の方々をお招きし、小煮物の作り方などについて授業をしていただいた。 <p>3、水やり・草取り(5月～8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の時間に水やりを行ったり、草取りをして畑の管理を協力して行った。 <p>4、サツマイモの収穫(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方から指導を受けながら、協力してサツマイモの収穫を行った。 <p>5、小煮物作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進委員の方々をお招きし、小煮物作りを教えていただいた。 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・普段何気なく食べている野菜を畝づくりから行き、苗を植えて育てたことで食物をつくる苦労や工夫について実感することができた。 ・今年は猛暑のためサツマイモが不作だったが、苦労して食物をつくり収穫できる喜びも実感することができた。 ・5年ぶりに小煮物作りを実施することができ、小煮物の美味しさを改めて感じるととも、郷土料理について考えを深めることができた。 ・包丁を使う際、安全面に十分に配慮する必要がある。 	
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫した野菜は家庭に持ち帰り、収穫した喜びを伝える機会とした。 ・小煮物については、家庭でも作ってみよう声がけを行った。実際に家で作った生徒は、「学校で作ったときとは味付けが違ったが、楽しく作ることができた。おいしく作ることができて良かった。」と感想を述べていた。 	